



明治四十年五月改正

碓氷社管理規程

上野國碓氷郡原市町

碓氷社

4850



目次

壹條	製絲等級	一	十條	製糸代金及其受授會計	二四
二條	製絲「デニール」程度及獎勵	三	十一條	印章	二六
三條	製絲ノ量目	一〇	十二條	帳簿	二七
四條	生絲製出方法	一〇	十三條	諸雜規定	二九
五條	製糸揚返シ切數檢査	一五	十四條	各組揚場管理方法	三〇
六條	切レ糸檢査	一七	十五條	二本揚リ絲防止方法	三四
七條	繰返シ試驗	一九	十六條	各組糸整本社荷送取扱手續	三八
八條	製糸荷造及商票	二〇	十七條	夏秋蠶絲	四〇
九條	勤務	二二	十八條	優等工女ノ獎勵	四一

## 碓氷社管理規程

此管理規程ハ社則第三十四條ニ據リ左ノ通り之レヲ定ム

### 第壹條 製絲等級

第一項 製絲ヲ類別シテ二類トス

第一類 座繰製絲

第二類 機械製絲

第二項 第一類検査等級ハ優等ヨリ十二等及等外トス

第二類ハ一等ヨリ九等及等外トス

第三項 等級ノ鑑別ハ等級検査員ヲシテ檢定セシム但シ等外ハ二名以上ノ検査員合

議決定スルモノトス

第四項 等級ノ差ハ第一類座繰製糸ハ製糸量十匁ニ付糸量一分二厘等外ハ特別鑑定  
差トス第二類機械製糸ハ同十匁ニ付糸量二分五厘ノ割合ヲ以テ減スルヲ一等差

トシ等外ハ一類ニ同シ即チ別表第一號表ヲ如シ

第五項 等外絲ハ本等即チ十二等ニ組入レカタキ汚レ絲絲質脆弱絲固着甚ダシキモノ素乱絲損傷絲類節夥シキモノ等其程度ノ多少ニ準ジ降等ス但シ本等等外ニ拘ワラズ損傷絲ノ繰返シハ本社ニ於テ處理シ費用ハ其組ヨリ徵集ス

第六項 等級ノ檢定ヲ製出人ニ於テ不相當トシ其理由ヲ申出タルトキハ社長其事實ヲ糺シ至當ト認メタルトキハ更ニ他ノ檢査員ヲシテ再檢査セシムルコトアルベシ但シ該製絲既ニ大札ヲ取り製出人不明トナリタル所ハ此限リニアラス

第七項 等級檢査員ノ撰任及檢査方法ハ社長決定ス

第八項 優等製絲ヲ連續製出シタルモノハ優技工女トシテ左ノ例ニ準ジ賞與スルモノトス

優等ノ本分製絲ヲ連續製出セシモノ、賞與金座繰製糸ハ左ノ等位ニヨリ機械製糸ハ此連數ニ每等級十連ヲ加フ但シ第一回乃至第四回ヲ通算スルコト

二十五連以上 優等 金壹圓

十五連以上 一等 金五拾錢

十連以上 二等 金三拾錢

第九項 前項ノ賞與金ハ各組會ニ於テ議定シタル金員ヲ以テ之ニ充ツ但シ物品ニ換ルコトヲ得

第二條 製絲「デニール」ノ程度及獎勵

第十項 「デニール」ノ定度座繰ハ十二ヨリ十六迄機械製絲ハ十二ヨリ十五迄ヲ本分トシ其他ハ分外トス其分外中「デニール」輕重ニ準ジ等級ヲ降スモノトス即チ別表第二號甲乙表ノ如シ但シ需要ノ模様ニヨリ社長ハ其ノ定度ヲ時宜變更スルコトヲ得

一 「デニール」ガ時候ノ乾濕秋蠶絲ノ製出等ニヨリ俄ニ定度ヲ逸シ細太各々甚シキニ失シ社長ハ實行上不利アルモノト思料シタルトキハ臨機ノ處理ヲナスモノト

ス

第十一項 「デニール」二十一以上九以下輕重ノ差違甚シキモノハ違則絲トシ前項等級ヲ降ス外「デニール」増減毎ニ金貳錢宛ノ割合ヲ以テ違約料ヲ徵集ス例ハ二

十一ハ貳錢二十二ハ四錢ヲ徵收スルカ如シ

第十二項 一連ノ製絲中「デニール」二十三半以上七以下ノモノハ濫造製絲トシ其「デニール」ノ輕重ニヨリ特ニ等外トシ降等スルモノトス

第十三項 前第十一項ノ違約料徵收金ハ其組中優等工女ノ賞與金ニ充ツルモノトス

第十四項 「デニール」ノ検査ハ小梓壹連ニ付四百回ニケ所ト定メ各組ニ於テ「デニール」検査掛リヲ置キ「デニール」衡器ヲ以テ每一連ツ、洩ナク検査ス

第十五項 「デニール」ノ検査ハ再檢ヲ許サズ但シ検査既濟ノ「テドロ」絲ヲ再量シ又ハ四百回々數ヲ再査スルコトヲ得

第十六項 「デニール」ノ検査ハ二本取り（小梓二梓ノテドロヲ一時ニ検査スルモノ）及ヒ續ケ取りヲ禁止

ス

第十七項 毎日「デニール」ヲ検査スベキ割合ハ當日揚返シ總梓數ニ準ジ凡ソ左ノ割合ニ區分シ検査ス

末 十分ノ三 中 十分ノ四 口 十分ノ三

第十八項 特別注文ノ製絲ヲ引受製絲ヲナス場合ニ於テハ「デニール」ハ本條ノ規定

ニヨラス社長ハ當該組長ノ協議ヲ以テ特ニ方法ヲ設ケ施行スルコトヲ得

第十九項 本分製絲ヲ連續製出シタルモノハ優技工女トシ左ノ制限ニ準シ時々賞與スルモノトス

本分製絲連續製出セシモノ賞與金

百連以上	優等	金壹圓
九十連以上九十九連以下	一等	金八拾錢
八十連以上八十九連以下	二等	金七拾錢

七十連以上七十九連以下	三等	金六十拾錢
六十連以上六十九連以下	四等	金五十拾錢
五十連以上四十九連以下	五等	金四十拾錢
四十連以上三十九連以下	六等	金三十拾錢
三十連以上二十九連以下	七等	金二十拾錢
二十連以上十九連以下	八等	金十拾錢

但シ各組ノ狀況ニヨリ組總會ノ決議ヲ經テ二十連以下ト雖モ賞與スルコトヲ得

第二十項 前項ノ賞與金ハ本條第十三項ニ示ス料金其他各組總會ニ於テ議定シタル金員ヲ以テ之レニ充ツ但シ物品ニ換ルコトヲ得

第二十一項 本條中ニ定メタル違納料金ヲ徵集セザル組アヲタルトキハ社長ハ之レヲ本社ニ徵集シ全社内中ノ優等工女ノ賞與金ニ加入ス

第二十二項 「デニール」ハ各組檢査濟ノ後チハ其ノ儘本絲一箱毎ニ結束區分シ本絲

ト共ニ本社ニ送致スベキモノトス且ツ此ノ「デニール」送出ニ際シテハ本絲連數ニ相當スル「デニール」絲ノ本數量目ヲ明確シ送證書ヲ添エ發送シ増減又ハ不突合等勿ラシムル様注意ヲ要ス

第二十三項 「デニール」再檢査ハ本社ニ於テ再檢査掛リヲ置キ再檢査ヲナスモノトス但シ社長ハ時々監視人ヲ派遣シ各組檢査ノ正否ヲ檢査シ又ハ檢査ノ順序方法等檢査セシム

第二十四項 本社再檢査ニ於テ各組檢査ノ檢定ガ其「デニール」ノ度數回數ニ相違シアルヲ發顯シタルトキハ本社ノ再檢査ヲ以テ確定トシ直ニ組檢査ヲ更正ス但シ其更正ガ其總數ニ對シ拾分ノ二以上更正スベキモノアリタルトキハ當該組長又ハ當務員ヲ立會セシメ更正スルモノトス

第二十五項 「デニール」絲ハ本社ニ於テ再檢査濟ノ上ハ本絲賣却ノ例ニ倣ヒ適宜本社ニ於テ賣却ス

第二十六項 本社ニテ賣却シ能フズ從來ノ如ク繰返シヲナシ販賣スルトキハ賣却ナシタル分ヲ除キ其他ハ其繰返シヲ組々「デニール」製出數量ニ割合分賦繰返シヲナサシム

但シ繰返シ相當負擔スベキ組々ノ希望ニヨリテハ他組ニ托シ繰返シヲナサシメ又ハ「デニール」少量ノ場合其他時宜ニヨリ本社ニ於テ繰返シ事務ヲ執行スルモノトス

第二十七項 前第二十六項「デニール」繰返シ賃ハ時宜本社ニ於テ相定メ其繰返シ者ニ支拂フモノトス此ノ繰返シ賃ハ此ノ「デニール」絲賣却代金中ヨリ扣除シ支辨スベシ

第二十八項 「デニール」絲ノ賣上精算ハ第一回ヨリ第四回分迄ヲ通算シ各組アドロ絲出絲量ニ割合本絲精算ト共ニ精算スルモノトス

第二十九項 前第十四項「デニール」ノ檢査ニ於テニケ所ノ「デニール」十四均整ニシ

テ等級優等ヨリ五等ニ至リ其ノ絲量ガ定量範圍ニアルモノハ一連ニ對シ金四錢宛ノ賞與金ヲ本社ヨリ給與ス

第三十項 前項ノ賞與金ハ本社ニ於テ「デニール」再檢査ヲナシ十四「デニール」均整確定ノ上送記簿中相當欄ニ行賞ノ二文字アル證印ヲナシ又送記簿表欄ニ其ノ連數賞與金額ヲ記入シ本社ヨリ通告ノ符合トシ送記簿ヲ當該組ニ返送ス

第三十一項 各組々ニ於テハ前項本社ノ符合通告ヲ受領シタルトキハ送記簿中其ノ行賞證印ヲ證トシ速カニ其製造人工女ニ受賞ノ通知ヲナスベシ且ツ此ノ通知ハ製絲ノ通帳中行賞製絲相當欄ニ行賞ノ證印ヲ押印シ通知ノ符合證トスベシ此ノ行賞印ハ本社ニ於テ調整配賦ス

第三十二項 前第二十九項ノ賞與金ハ其ノ時々工女ニ授與ス且ツ此ノ賞與金ハ前第三十項送記簿中行賞ノ證印ヲ證トシ一時各組ニ於テ立替支給シ而シテ本社ヨリハ精算ノ節受授スベキモノトス

第三條 製絲ノ量目

第三十三項 製絲一繰ノ量目ヲ八匁五分以上十匁五分以下トシ一連即チ小枠四枠ヲ合算シテ三十四匁以上四十二匁以内ヲ以テ定量トス

第三十四項 前項ニ示ス定量外ニ涉リタルモノハ違則トシ一連ノ量目増減一匁毎ニ壹錢ツ、ノ割合ヲ以テ違約金ヲ製出人ヨリ徴收ス

第三十五項 前項ニヨリ收入シタル違約金ハ其組乙費ニ補充ス

第四條 生絲製出方法

第三十六項 社員ハ各自ニ製造シタル製絲ハ小枠四枠ヲ一連(以下同ジ)トナシ番號及ヒ

工女ノ名前ヲ記シ組ヨリ渡シ置キタル製絲ノ通帳ヲ添へ所屬組受附へ送致スベシ

第三十七項 組ニ於テハ社員ヨリ製出シタル製絲ハ順次受附臺帳及ヒ通帳へ記入シ臺帳ト通帳ト割印シ通帳ハ製出人へ返附スベシ

第三十八項 組ニ於テハ受附後順次揚返シテナシ二繰ツ、ヲ合セ之ヲ又一ト結ビト

シ左右ニテ所ヲ結束シ(結束ニハ一ト結ビ大札ノ古紙一枚ツ、ヲ以テ結束スルモノトシ其他ノ結束紙ヲ用ユルコトヲ得ズ)ナルベク其日限リニ取纏メ紊乱又ハ

損傷ノ怖レナキ様慎重ニ注意ヲ加へ送記簿ヲ添ヘテ本社ニ送致シ本社ニ於テハ之カ計算ヲ了シ面シテ其計量ヲ送記簿へ記入其組へ回附スベシ

第三十九項 本社ニ於テハ各組ヨリ送り來リタル分順次受附檢査秤量簿記計算捺糸束整等ノ手續ヲ盡シ販賣地ヘ向ケ發送スルモノトス

第四十項 生絲ノ製造方ハ正實ヲ旨トシ親切丁寧ニシ苟モ不實ノ行爲アルベカラズ

第四十一項 製絲ハ細太及類節ナク光澤一樣ニ壹連ノ製絲ハ總テ均一ニ製出スルヲ主要トスベシ

第四十二項 各社員ニ於テハ繰絲後乾燥ヲナシ殊ニ雨天ノ節ハ最モ注意ヲ加へ充分ノ乾燥ヲ盡シ後其組へ送致スベキモノトス



第四十三項 「ラドロ」絲ヲ購入繰返シヲナシテ製出シ若シクハ提絲其他市場ニ賣買スル生絲ヲ繰返シ製出スルコトヲ嚴禁ス小梓ノ製糸ヲはづシテ送致スルモ亦同ヲ

第四十四項 不正ノ手段ヲ加ヘ及粗製濫造ノ製絲ハ組長ニ於テ其受付ヲ遮絶シ若シ受付後繰返シノトキ及本社等級檢査員ニ於テ發顯シタルモノハ該組ヲ經由シテ其製出人ニ返附ス

第四十五項 前第四十三項ニ該當スル行爲ヲナシタルモノ及第四十四項ニ該當シ再度返附ヲ受ケシモノ、製絲ハ爾後其受付ヲ遮絶ス

但シ組長ニ於テ改良ナシタルモノト認メタルキハ社長ノ承許ヲ得再ヒ製出スルコトヲ許ス

第四十六項 製絲繰返シ及大梓はづし方其外組事業ハ個數ヲ以テ受負セルコトヲ禁止ス若シ個數ヲ以テ受負セザルヲ得ザル事業ノ如キハ社長ノ許可ヲ得ベシ

第四十七項 各組絲整ノ定規トスルモノハ左ニ

- 一 大梓設備ノ數ハ揚臺一臺ニ付八個以上トシ社長ノ指定ニヨル其大梓ノ周圍ハ「メートル」半即チ四尺九寸五分トス但シ四尺九寸九分未滿ハ當分使用スルコトヲ得
- 二 大梓揚絲巾ハ二寸以上二寸三分以内トス
- 三 絡交ハ手振壹往復ニ付大梓一回轉二分ノ一トス但シ三分ノ二以内ハ當分使用スルコトヲ得
- 四 アチ絲ハ壹編ニ貳ヶ所トシ壹ヶ所五通り編トス
- 五 絲ノ口留方ハ末口ヲ合セ結紮シテ紊乱勿ラムルヲ要ス
- 六 大梓ノ回轉ハ一分時間凡百二十回以上百五十回以内ヲ標準トス但シ季候乾燥雨濕ニヨリ時宜緩急適度ナラシムベシ
- 七 乾燥室ヲ設備シ雨濕ノトキ製絲濕氣(揚返シ後十二時間ヲ經過シ)アルキハ十分ノ火力乾燥ヲ施シ後テ本社ニ發送スルモノトス若シ本社受付及ヒ檢査ニ際シ濕氣ノ

疑アル片ハ書記立會調査ヲナシ濕氣アリト認定シタル片ハ本社乾燥場ニ於テ再乾燥ヲナスモノトス此ノ場合ニ於テ量目ノ量定ハ再乾燥以後ヲ以テ確實トス

八 小枠しめし方ハ全部しめしトシ揚返シ凡一時間前之ヲ爲スベシ雨濕ノ片ハ四角ドじめしトスベシ

九 しめし用品ハ白木綿真綿「キビソ」ノ三種トシ白木綿ヲ用ユル片ハ凡三日限リ真綿「キビソ」ヲ用ユル片ハ曹達及石鹼等ニテ煮沸シ能ク煉リ上ケ清水ニ晒シ用ユベシ

十 しめし水ハ清水ヲ撰用シ屢々交換汚濁勿ラシムベシ

十一 蠅ハ大害ヲナスヲ以テ之レヲ驅除シ製絲ヲ汚損ナカラシムベシ

十二 大枠絲ばづし時間ハ揚返シ後二十四時間以上ヲ經過スルニアラザレバ取ばづ事ヲ得ズ但シ雨天ノ節二十四時間以内ニテ乾燥ノ見込ナキ片ハ凡十二時間

ヲ經テ火力乾燥ヲナスベシ

第五條

製絲揚返切數檢査

第四十八項 揚返シ切數檢査ハ小枠ヨリ大枠ニ揚返シノ節其切斷ノ度數ヲ檢査スルモノトス

第四十九項 檢査場ハ工場内ヲ區畫シ一定ノ場所ニ於テ之ヲ施行スベシ

第五十項 揚返シ人ハ揚方巧手ヲ撰ミ抽籤ヲ以テ定ムベキモノトス

第五十一項 檢査製絲ハ工女一名ニ付凡ソ拾連即チ小枠四十枠中ニ於テ其一連ヲ撰拔シ不定期ニ檢査ス之ヲ一回ト稱ス

但シ檢査小枠ノ撰擇ハ受付掛リ之ヲ定ム

第五十二項 切數ニ對スル賞與及手數料ハ左ノ第五十三項及第五十四項ノ例ニヨリ

收支ス賞與ハ物品ヲ贈與スルモノトス

但シ機械製絲ハ機械組長ノ申合ヲ以テ特ニ變更スルヲ得

第五十三項 賞與ハ一回ノ檢査ニ於ケル其切度ノ差等ニ準シ左ノ金員ヲ收入シ賞與品ノ資料トス

切レ度ナキモノ	優等	金參拾錢
切レ度一度ノモノ	一等	金貳拾錢
切レ度三度以下ノモノ	二等	金拾錢
切レ度五度以下ノモノ	三等	金五錢
第五十四項 手數料ハ一回ノ檢査ニ於ケル其切度ノ差等ニ準ジ左ノ金員ヲ收入ス		
切レ度三十一度以上	六等	金貳錢
切レ度四十二度以上	五等	金四錢
切レ度五十一度以上	四等	金六錢
切レ度六十一度以上	三等	金八錢
切レ度七十一度以上	二等	金拾錢

切レ度八十一度以上

一等 金拾貳錢

切レ度九十一度以上ハ十度未滿ニ付金三錢宛ノ割合ヲ以テ增加收入ス

第五十五項 賞與ハ檢査毎ニ時々之ヲ施行シ手數料ハ年度末ノ内一時ニ收入スベシ

第五十六項 切レ度六度以上三十度以下ハ賞與及手數料ヲ收支セズ

第五十七項 賞金ハ毎年各組ノ乙費ヨリ支出シ手數料ハ乙費ニ收入ス

第五十八項 分外絲ハ賞與セザルモノトス

第五十九項 檢査ハ總テ其日限リニ終了シ翌日ニ涉ルベカラズ

第六十項 切數ノ檢査ハ工女及ヒ社員ノ參觀ヲ許ス

第六條 切絲檢査

第六十一項 切レ絲ト稱スルハ大梓ヨリ採リはづし後下降及ヒ梓角ニ引込ミアルモ

ノヲ云フ即チ揚返シノ正否ヲ檢査スルモノトス

第六十二項 切レ絲檢査ハ各組ニ於テ時々之ヲ施行ス

第六十三項 切レ絲檢査ハ各組書記ニ於テ擔當スベシ

第六十四項 檢査ハ大枠ヨリ採リはづし後直ニ之ヲ行フベシ

第六十五項 檢査スベキ大枠數ノ定度ハ組長適宜之レヲ定ム

第六十六項 切レ絲ヲ檢査スベキ要點ハ左ニ

一 大枠角ニ引込ミシモノ之レハ揚返シノ節切レ絲ヲつながらずシテ枠角ニ引込

ミ陰匿シアルモノ

二 切レ絲降下セシモノ之ハつながらずシテ絲口ノ降リヨモノ

第六十七項 檢査ハ每揚人漏ナク均一ニ之レヲ行フベシ

第六十八項 切レ絲數ノ計算ハ一絲斷截シタル切レ口左右ニ分レタルモノノ一方ヲ

一度トス即チ左右ニ分レタルモノヲ二度ト計算ス

第六十九項 切レ絲檢査ノ成績ハ其度ヤ記錄シ其増減ヲ瞭然ナラシメ他日ノ參照ニ

供スベシ

第七十項 檢査ノ成績ハ一ヶ月分ヲ纏メテ翌月十日迄ニ本社ニ報告スベシ

第七十一項 檢査ヲ擔當シタルモノハ檢査終了後認印ヲナシ正確ヲ証シ其責ヲ負フ

ベシ

第七十二項 本條ノ檢査ハ本社ヨリ時々監視員ヲ派出シ本檢査又ハ再檢査ヲナスヲ

アルベシ

第七十三項 本條ノ檢査ハ本社ニ於テモ臨時之ヲ檢査スルヲアルベシ而シテ本社ニ

於テハ各組ヨリ送り來リタル處ノ製絲ニ付テ直ニ之ヲ施行ス其成績ハ便宜當該

組ニ通知ス

第七十四項 本社ニ於テハ等級檢査員又ハ特ニ檢査員ヲ設ケ檢査ス

第七條 繰返シ試驗

第七十五項 繰返シ試驗ハ製絲繰返シノ難易及切斷ノ度數「デニール」ノ適否ニ本揚

リ絲等ヲ試驗ス

第七十六項 繰返シ試験ハ本社ノミニ於テ之ヲ施行ス

第七十七項 本社ニ於テハ繰返シ試験掛リヲ設ケ試験ノ諸務ヲ擔當セシム

第七十八項 試験ハ各組ヨリ受付後順次捻絲ノ手續ヲ經而シテ各組壹繰ツ、各組製

絲ノ多寡ニ準ジ繰返シヲナスモノトス

第七十九項 此試験ニ於テ不良ノ成績アル分ハ特ニ其組ニ通知シテ示後ノ改良ヲ講  
ゼシム

第八條 製絲荷造リ及商票

第八十項 商票及荷造リハ座繰機械ノ種類ニ隨ヒ本條ニ準ジ區分ス

第八十一項 座繰製絲ハ左ニ

製絲ノ等級

商票種別

- 一 優 等 姫 印
- 一 壹等 貳等 參等 以上ノ等級 五人娘

一 四 等 五 等 以上ノ等級 二人娘

一 六 等 七 等 以上ノ等級 金 紅 葉

一 八 等 九 等 以上ノ等級 銀 紅 葉

一 十 等 以下 山 東

一 分 外 不同分外ノ一 金 字

一 同 全 上ノ二 鹿 標

一 同 太 分 外 南 天

一 最太細分外光澤優ナルモノ 赤 紅 葉

一 全 上 劣ナルモノ 青 紅 葉

一 品位及「デニール」ノ等外 無商票トス

但シ最太最細ヲ除クノ外六等以下ノ分外ハ區分セズ

一 製絲需要ノ状態ニヨリ社長ハ上記等級ノ組合セテ時宜變更スルヲ得

第八十二項 機械製絲ハ左ニ

製絲ノ等級

商標種別

一 一等ヨリ四等

羽子板

一 分外一等ヨリ四等

提燈

一 五等以下ノ製絲ハ羽子板標三等トシ又ハ座繰ニ組入ル、コアルベシ

但シ賣路上ノ模様ニヨリ四等以上ノ製絲ト雖座繰ニ合同スルコアル

ベシ

第八十三項 製絲賣却ノ模様又ハ特別製絲ノ注文ヲ引受ケタルトキハ社長組長（關

係ノ組長）ノ議ヲ經テ特ニ商標ヲ製シ別ニ荷造リヲナシ販賣スルコトヲ得

第八十四項 本條第八十一項第八十二項ニ組入ガタキ絲ハ商標ヲ附セズ別途ニ處理

シ販賣スルモノトス

第九條 勤務

第八十五項 本社又ハ各組ニ職ヲ奉スル者ハ總テ公平正實勤勉ヲ旨トシ諸事慎重ニ

執務スベシ

第八十六項 本社各組ニ於テハ事業上疎漏不實ノ行爲ハ勿論溢滞ナト様書記雇員ヲ

シテ各々事務ノ分掌ヲ定メ常ニ其ノ責務ヲ明然タラシムベシ

第八十七項 本社各組共職員中二名以上毎夜交互宿直ヲナスベシ

但シ社業ノ繁閑ニヨリ各人員ヲ増減スルコトヲ得

第八十八項 休暇ハ社業繁盛期即チ七月ヨリ十月迄ハ毎月一日十五日ノ兩日限リト

シ其他ハ一般ノ祝祭日日曜鎮守祭禮ト定ム若シ臨時特ニ休暇ヲ要シ又ハ廢休ヲ

ナサントスルトキハ本社ハ社長各組ハ組長ニ於テ決行スルコトヲ得

第八十九項 當社ノ勤務時間ハ事業ノ繁閑日ノ長短ニヨリテ本社ハ社長各組ハ組長

ニ於テ適宜之ヲ定ム

第九十項 本條各項ニ定メタル外勤務ニ關スル規定本社ハ社長各組ハ組長ニ於テ定

ムルモノトス

第九十一項 本社各組ノ職員ニシテ本社各組ニ對シ不正不實ノ行爲アリタルトキハ直ニ解雇シ組ニ於ケル解雇者ハ其姓名ヲ社長ニ報告シ社長ハ其行爲ヲ調査シ適宜各組々ニ通知スルコトアルベシ

第九十二項 前第九十一項ニ該當シ解雇シタル者ハ本社各組ノ職員ニ採用シ及ヒ其他ノ社務ニ關シ使用スルコトヲ得ズ

但シ被解雇者悔悟又ハ其事故ヲ濟了シ解雇主ヨリ其解雇ヲ取消サント欲スルトキハ社長ノ認許ヲ經再ビ職員ニ採用スルコトヲ得

第十條

製絲代金及其受授會計

第九十三項 絲代内渡シ金本社各組間ノ受授ハ本社及高崎分工場其他社長指定ノ出張所ニ於テシ本社分工場ハ毎月二七ノ日トシ其他ノ受授ハ社長ノ定ムル處ニヨリ各組ト社員間ハ當日又ハ翌日受授スルモノトス

第九十四項 前項ニ定ムル渡シ日ノ外臨時ニ糸代内渡シ金ノ入用ヲ生ヅタルキハ其理由ヲ申出ツベシ社長組長ニ於テ其ノ事由ヲ至當ト認メ現金存在ノ限りハ特ニ受授スル事ヲ得

第九十五項 各組ニ於テ糸代金内渡シテ要請セントスルトキハ前項渡日ノ前日迄ニ其入用額ヲ申込ミ而シテ當日之ヲ領收スベシ

第九十六項 本社各組間糸代金ノ受授本社ハ社長ノ指令シタル出納部擔任者各組ハ組長自ラ之レヲ擔當スベシ若シ組長差支アルトキハ副組長代理ス各組ニ於テ社員ニ對スル金員受授ハ組長ノ責任トス

第九十七項 金錢ノ出納ハ毎日收支ヲ決算シ毎月末日ニ於テ試算表ヲ調製スベシ  
第九十八項 社業ニ要スル諸用紙其他物品組用ノ分ハ本社ニ於テ調製シ代價支拂ヒ置キ精算ノ節絲代渡シ金ト差引決算ヲ了スルモノトス  
但シ少數ノ組限リ特ニ使用スル物品ハ此限リニアラズ

第九十九項 製絲賣却以前製出ノ製絲ニ對シ本社及各組ヨリ糸代内渡シ金ヲナスベキ標準額ハ糸價ノ高低ニ隨ヒ社長ハ組長ニ諮問シ時宜其標準額ヲ定ムルモノトス但シ絲價急激ノ高低ヲ顯シ又ハ金融ノ緩急ニヨリテハ社長ハ其標準額ヲ隨意變更スルモノトス

第十一條 印章

第一百項 本社ノ印章ハ社名各組印ハ組名ヲ彫刻ス各役員ハ總テ實印ヲ押用スルモノトス

第一百一項 社印組印ノ寸方字体其他封緘割印等ハ本社及各組銘々ニ於テ適宜ニ調製スベシ

第一百二項 社用ニ關シ押用スベキ印章ハ社印組印實印其他ニ至ル迄其印鑑ヲ調製シ本社ニ差出シ置クベキモノトス

第一百三項 本社各組ニ於テハ印鑑簿ヲ整置シ本條ニ示ス印鑑ヲ保存スベシ

第一百四項 前第百二項ニ示ス總テノ印章ヲ改刻シタルトキハ其印鑑ヲ五日以内ニ本社ニ差出スベシ

第十二條 帳簿

第一百五項 本社及組ノ帳簿ハ左ノ如シ

- |             |             |
|-------------|-------------|
| 一 出納簿       | 一 出 勤 簿     |
| 一 資 產 原 簿   | 一 振替金勘定元帳   |
| 一 貸 借 金 元 帳 | 一 諸 勘 定 元 帳 |
| 一 利息勘定元帳    | 一 賣 上 金 簿   |
| 一 經費仕譯金簿    | 一 基 本 金 元 帳 |
| 一 製絲受附簿     | 一 判 取 帳     |
| 一 精算金差引簿    | 一 試 算 表     |



- 一 印鑑簿
  - 一 製絲精算簿
  - 一 社員名簿
  - 一 組ノ部
  - 一 出納簿
  - 一 判取帳
  - 一 基本金原簿
  - 一 資産原簿
  - 一 貸借金簿
  - 一 經費任譯金簿
  - 一 試算簿
  - 一 製絲精算簿
  - 一 製絲受附臺帳
  - 一 出勤簿
  - 一 精算金差引簿
  - 一 社員名簿
- 第百六項 前第百五項ニ示ス帳簿ノ外張簿ノ必要ヲ生シタルトキハ本社ハ社長各組ハ組長ニ於テ之レヲ新製スルコトヲ得  
但シ新製ノ上ハ其帳簿ヲ帳簿目錄ニ記入スベシ

第百七項 帳簿ハ帳簿目錄ヲ造リ番號ヲ附シ該目錄ニ記入シ置クモノトス  
第百八項 帳簿ハ毎年年末ニ至リ毎帳簿目錄ニ照查シ部類ヲ分テ合計ヲナシ保存スベシ

第十三條 諸雜規定

第百九項 特別製絲ノ注文アリタルトキハ各組長ノ議ヲ經テ數組申合又ハ一組限リニテモ其注文ニ應ジ製造スルコトヲ得然レトモ社則ハ勿論總テ此管理規程ニ準據スベシ但シ「デニール」ノ細太等注文ニ應スル要點ハ此限リニアラズ

第百十項 此ノ管理規程ノ外社業管理上至急取締ヲ要スル場合ニ於テハ組長ノ議ヲ經ズ社長ハ臨時特ニ其取締及檢査方法ヲ設ケ之レヲ施行シ追テ組長會ノ議ヲ經テ存廢ヲ定ムベキモノトス

第百十一項 製絲賣却方橫濱實行ノ景況又ハ製絲ノ種類ニ準シ社長ハ海外直輸ノ方利益アリト認知シタル時ハ組長會ノ議ヲ經テ適宜ニ海外直輸賣却ヲナスコトヲ得

第十四條 各組揚場管理方法

- 第一百十二項 各組揚場事業ハ本條ノ例規ニヨリ管理ノ整一ヲ期ス
- 第一百十三項 各組揚場事業ノ管理ハ組長ノ責任トシ書記以下ニ分擔セシム
- 第一百十四項 揚場事業中殊ニ精確ノ處理ヲ要スベキモノハ左ニ
  - 一 二本揚リ糸ノ害タル甚ク大ナルモノナレバ專ラ之レガ防止ヲ盡スヲ要ス而シテ之レガ防止法ハ第十五條ニヨルベシ
  - 二 大粹ノ回轉ハ第四條第四十七項第六ヲ誤ラザルハ勿論雨天ノ節ハ尙回轉ノ度ヲ遲緩ナラシメ固着糸ノ生セザル様其調度ヲ主トスベシ
  - 三 小粹絲ノしめし方ハ第四條第四十七項第八ニ準テ小粹ノ全部ヲしめし而シテ雨天甚クシキトキハ四角しめしと爲すベシ
  - 四 大粹絲ノ乾燥完全ナラザレバ再ビ濕氣ヲ來シ大ニ品位ヲ損スルモノナリ殊ニ雨天ノ節ニ於テハ一めし方ヲ減スルニ反シ乾燥方ニ長時間ヲ經十分ノ乾燥

ヲナシ其全不全ヲ検査スベシ

第十五項 揚場掛リ員中首立者タルモノハ事務ノ整一ヲ要スルタメ社長ハ時宜召集シ協議會又ハ講究會ヲ開設スルコトアルベシ

第十六項 各組ニ小粹しめし方主任ヲ置キ第四條第四十七項八、九、十ノ事項其他しめし方ニ關スル一切ヲ擔當セシム

第十七項 揚返シ方職員揚返シ大粹臺受持制限ハ左ニ

- 一等揚方 大粹 十臺以下 二等揚方 全 八臺以下
  - 三等揚方 全 七臺以下 四等揚方 全 五臺以下
- 以上制限外受持タシムル事ヲ許サズ

但シ機械製絲ハ本項制限凡三割ヲ増加スル事ヲ得

第十八項 揚返シ方職員ノ等級ハ當該組長ノ指定ニヨル

但シ十五歳未満ハ一等職員タルコトヲ得セシメザルモノトス

第一百十九項 揚場職員此ノ規程ニ違背シ又ハ社業ニ關シ不實ノ行爲アリタルトキハ  
社長ハ組長ニ命シテ何時ニテモ解雇セシムルモノトス

第一百二十項 揚場職員左ニ掲記ノ事項ヲ本社役員及監視員其他組長社員等ニ發見セ  
ラレタルキハ職務怠慢ノ責ニ任スベシ此場合ニ於テハ社長其顛末ヲ審査シ第九  
條第九十一項 第九十二項ノ例ニ準ジ處理スルコトアルベシ

一 第二條第十六項二本取り及ヒ續ケ取りヲナシタルヲ發顯シタルキ

一 第四條第四十七項第十二大粹絲はづし時間ヲ速メタルモノ

第一百二十一項 揚はづし絲則チ「ウズ」及「カギ」ヲはづれ散亂纏絡シ或ハ絡交ナキ棒  
揚リ絲トナリタルモノハ需要家ノ再繰返シヲシテ困難ナラシムルモノナレバ斯  
ル揚返シ不良絲ヲ勿ラシムベシ若シ此不良揚返シ絲ノ生シタルキハ直ニ繰返シ  
順正ナラシメ後チ揚返シヲ了スルモノトス

第一百二十二項 前項ノ手續ヲ履行セズシテ本社ニ送附シタルモノハ前第九條第九十

一項第九十二項ニヨリ處分スルモノトス

第一百二十三項 揚場職員中テドロ方、しめし方、大粹絲はづし方、二本揚リ絲防止方、  
等専任若シクハ兼行ノ掛リ員ハ社長ノ承認ヲ經テ任用スルモノトス但シ承認手  
續キハ社長ノ指定ニヨル

第一百二十四項 前第一百二十三項ノ職員社長ニ於テ社業ニ適當セズ又ハ不正不實ノ行  
爲アリト認メタルトキハ承認ヲ取消ス事アルベシ此ノ場合ニ於テ組長ハ直ニ其  
ノ取消シト共ニ其職員ヲ解雇スベシ

第一百二十五項 前第一百二十四項ノ承認取消シニ對シ説明又ハ事由ヲ需ムルモノアル  
モ社長ハ之レガ需メニ應ジ説明又ハ事由ヲ與ヘザルモノトス

但シ組長ニ於テハ其取消シニ對シ意見ヲ述べ又ハ取消シノ猶豫ヲ乞ヒ或ハ再  
採用ヲ申請スルコトヲ得

第一百二十六項 前第一百二十三項ノ職員ニシテ品行方正克ク社規ヲ遵行シ社業ニ精勵

シタルモノハ社長ニ於テ其ノ事跡ヲ調査シ其功勞ニ準ジ賞狀ヲ與フルモノトス  
第十五條 二本揚リ絲防止方法

第二百二十七項 二本揚リ絲ト稱スルハ揚場ニ於テ小粹絲ノ切斷シタル者他ノ小粹絲  
ニ聯繫シテ揚返サレタル者ヲ云フ二本以上何本ニテモ聯繫シテ揚返サレタル者  
モ亦同シ

第二百二十八項 二本揚リ絲ハ需要家ノ最モ嫌惡スルモノニテ之カ爲メ糸價ヲ低下セ  
シム故ニ二本揚リ絲存在スルモノハ粗製タルヲ免カレザルモノナレバ此方法ヲ  
設ケ專ラ防止ノ實ヲ全カラシムルモノトス

第二百二十九項 二本揚リ絲防止ノ爲メ各組々治ク防止器ヲ設備スベシ此ノ防止器ハ  
本社ニ於テ試験シ相當ノ効果アルモノト認定シタルモノノ中ニ限ル

第二百三十項 二本揚リ防止器設備ヲナサズ又ハ防止器ノ使用ヲ怠リタル組々ハ社長  
ニ於テ之レガ設備及ヒ勵行ヲ命ズベシ若シ之レカ命ヲ遵行セサルトキハ社長ハ

一時當該組ノ製絲受附ヲ中止スルヲアルベシ

第二百三十一項 二本揚リ糸防止方法ハ前項防止器ヲ以テ防止スル外尙揚人ヲシテ油  
斷ナク注視シ此ノ惡害ヲ防止スルモノトス

第二百三十二項 二本揚リ防止掛ヲハ常ニ揚場ヲ巡視シ專ラ防止ノ監視ヲナシ其實メ  
ニ任スベシ又正副組長其實メヲ免カルハヲ得ズ

第二百三十三項 揚人ハ二本揚リ絲防止器ニヨリ切斷防止シタルトキ又ハ防止器ノ防  
止ニヨラズ二本揚リ絲トナリタルモノヲ發顯シタルトキハ揚返シヲ中止シ防止  
掛リ又ハ正副組長及ビ代理者ノ内へ通告スベシ

第二百三十四項 防止掛リ員ハ前項ノ通告ヲ受ケタルトキハ直ニ其事實ヲ檢査シ切斷  
防止及ビ防止器ニヨラザル二本揚リ糸トナリタルモノハ各其度數ヲ記録シ又既  
ニ二本揚リ絲トナリタルモノハ他ノ職員ヲシテ繰返シヲナサシメ再ビ揚返シ  
濟了セシム

第三百二十五項 揚人ニ於テ二本揚リ絲ヲ發顯シ掛リ員ニ通告シタルモノハ一度ニ付金貳錢宛ノ賞與ヲ其ノ組々ニ於テ賞與ス此ノ賞與金ハ一ケ月ヲ纏メ月末支給スベシ

但シ切斷防止ハ此ノ限リニアラズ

第三百三十六項 二本揚リ絲防止方注意ノ至ラズシテ他人ニ發顯セラレタルモノハ左ノ例ニ依リ不注意料ヲ徵收ス

一 揚返シ中他ノ職員又ハ防止掛リ員其他ニ發顯セラレタルモノハ(一度毎ニ金貳錢)其組エ徵收ス

一 本社繰返シ檢査其他ニテ發顯セラレタルモノハ(一度毎ニ金五拾錢)其組ヨリ本社へ徵收ス但シ此ノ收入金ハ其年度本社ニ於ケル優等工女ノ賞與金ニ加入ス

第三百三十七項 自己擔當揚返シニ於ケル二本揚リ絲及切斷防止ヲ發顯通告シタルモ

ノ若シ其二本揚リ絲ノ生ジタル原因疑ハシキモノ及ヒ故造ニ出タルモノハ其事由ヲ調査シ相當ノ處分ヲナスモノトス

第三百三十八項 二本揚リ絲ノ切斷防止ノ數及二本揚リ絲ヲ發顯繰返シヲナシタル成跡ハ毎月末日限リ調査合計シ翌月十日迄ニ本社ニ報告スベシ

第三百三十九項 本社繰返シ試験ニ於テ試験掛リ員發顯シタルトキハ回轉ヲ中止シ直ニ當務書記ニ申告スベシ當務書記ニ於テハ其實跡ヲ審査シ當該組長ニ通告スベシ

第四百十項 前項第三百三十六項ニ掲グル賞與金ハ不注意料徵收金ヲ以テ之レニ充テ其余不足金ハ組費ヨリ支出スルモノトス

第四百十一項 二本揚リ絲ノ原因ハ切斷糸ノ風力迷走ニヨリ聯繫スルモノ及ヒ回轉速度ノ過度等ニ起因スルモノナレバ風入防禦回轉ノ調度ハ掛リ員ニ於テ擔當スベシ若シ事故欠席ノトキハ臨時代務員ヲ定メ擔當セシムベシ

第十六條

各組絲整本社荷送り取扱ヒ手續

第四百二十二項 受附臺帳及送記帳記入方ハ第一號受附ヲ用紙第一枚裏面初野欄へ第一號ト記入シ順次其半面へ十號ヲ記入シ夫ヨリ用紙第二枚目表面初野欄ニ接續記入シ即チ用紙第一第二表裏ヲ以テ都合二十號ヲ記入スベキモノトシ以下此例ニヨル

第四百二十三項 小梓受附毎日百號未滿ノ小組ニ於テハ番號數日間ヲ通シテ附番スルモ受附月日ハ必ズ其日限リニ記入スベシ

但シ番號ハ凡ソ四百號ヲ極度トス

第四百二十四項 小梓受附毎日多數ノ大組ハ大札小札共凡百號位ツ、色分ヲナシ一日分受號ヲ數回ニ區切り大札小札色種ヲ以テ番號ヲ區分シ見別ヲ容易ナラシメ混乱ノ憂ヒナキ手段ヲ施スヲ要ス

但シ着色ニハ蘇枋<sup>スウカク</sup>梔生<sup>チシセウシヤイ</sup>臘脂<sup>ロウジ</sup>藍<sup>アイ</sup>等ノ最モ薄色ニ限リ其他ノ染色物ハ原絲ニ附着

ノ怖レアルヲ以テ用ユベカラズ

第四百十五項 製絲一箱ノ容量ハ凡百連ヲ標準トシ容入スルモノトス其容箱ノ大小其ノ日ノ都合ニヨリ止ムヲ得ザル場合ニ於テモ百連ヲ越ユルコトヲ得ズ

第四百十六項 壹箱中容入ノ製絲各連ノ番號ハ何連ニテモ必ズ順號ナラシメ(例セバ一號ヨリ百號迄トスルガ如シ)他ノ箱中ニ於ケル製絲番號ト混濬セシメザルヲ要ス

但シ壹箱中ニ於テハ番號前後不同アルモ妨グナシ要ハ單ニ送記帳ト壹箱容入製絲番號ト彼是轉動セス順次突合セルニ便ナラシムルニアリ

第四百十七項 製絲箱入レノ節整理未濟ノ分ハ殘絲トシ次回ニ送致スルヲ得ルト雖<sup>レ</sup>該絲ハ送記帳中相當番號欄へ殘絲ト記入スベシ

第四百十八項 前項ノ殘絲ヲ次回ニ於テ送記ヲナスルハ送記帳末尾ニ何月何日殘絲ト見出シヲ明然記載シ送記ヲ要ス

第四百十九項 製絲秤量ヲ了シ前第四百十五項ニ示ス番號數ノ製絲ヲ一區トシ一日分ヲ數區ニ分置ス而シテ其一區中ノ分ハ第四百十六項ニ示ス如ク必ず一箱中ニ存在スル製絲番號ノ送記帳中列次突合セシムル様一列十號ヅ、縱横ニ重積シ（大札ハ何レモ外部ニ顯シ一目見易カラシム）而シテ其大札ヲ送記帳ヘ記入シ後再應照合シ現糸ト記帳トニ誤謬錯乱ナカラシムルヲ要ス

第四百十項 分外糸ハ相當降等ナスベキ分ハ受附臺帳送記帳トモ各降等數字ヲ各組ニ於テ記入シ本社ニ送荷スベシ

第四百十一項 製糸々箱容入ヲ了シ後千箱ノ外面ニ送荷月日番號連數組名ヲ表記一目ナラシムベシ

第十七條 夏 秋 蠶 絲

第四百十二項 夏秋蠶絲ハ需要者ニ於テ春蠶絲ト混同アルヲ最モ嫌惡シ之レカ爲メ價格ヲ低下スルモノナレバ夏秋蠶絲ハ別荷造リトス

第四百十三項 夏秋蠶絲ハ各製造人ニ於テ出梓ノトキ夏秋蠶糸タルコトヲ表明セシム

但シ組長ハ本項ノ主旨ヲ每製糸人ニ通示ヲナシ置タベシ

第四百十四項 受附掛リニ於テハ常ニ小梓受附ニ際シ每製糸人ニ質問シ洩ナキ様注意シ若シ疑ハシキモノハ再應ノ調査ヲナスベシ

第四百十五項 夏秋蠶糸ハ大札及送記帳ニ夏秋ノ文字ヲ附記シ一目判明ナラシメ混淆セサルヲ要ス

第四百十六項 等級檢査員ニ於テ春蠶絲中ニ夏秋蠶絲ヲ發顯シタル片ハ相當ノ等級ヲ附シ夏秋蠶絲ニ編入スベシ

但シ疑シキ品種ハ他ノ檢査員ヲシテ檢査セシメ合議決定ス

第十八條 優等工女ノ獎勵

第四百十七項 第一條中第八項優等及壹等第二條第十九項優等及壹等第五條第五

十三項優等ニ該等シタルモノヲ優等工女トス  
 第五百十八項 前項ニ該當シタル工女ハ其年度一月末日ヲ期シ組長ヨリ本社ヘ報告  
 スベシ

第五百十九項 本社ニ於テ之レカ調査ヲナシ技能ノ等位ニ準シ褒狀ヲ授與ス其中拔  
 群ナル工女ニハ社長ハ特ニ賞品ヲ與フルコアルベシ

右相定メ候也

上野國碓氷郡原市町

明治四十年五月

碓氷社

第壹號表甲

優	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	等外
四二五	四二五	四一〇	四一〇	四一〇	四〇五	四〇五	三九〇	三九〇	三八五	三八〇	三七五	三七〇	三七〇
四一五	四一五	四〇〇	四〇〇	四〇〇	三九五	三九五	三八〇	三八〇	三七五	三七〇	三七〇	三六五	三六〇
四〇五	四〇五	三九〇	三九〇	三九〇	三八五	三八五	三七〇	三七〇	三七〇	三六五	三六〇	三五五	三五〇
三九五	三九五	三八五	三八五	三八五	三七〇	三七〇	三六〇	三六〇	三五五	三五〇	三四五	三四〇	三四〇
三九五	三九五	三八〇	三八〇	三八〇	三七〇	三七〇	三六〇	三六〇	三五五	三五〇	三四五	三四〇	三四〇
三九五	三九五	三七五	三七五	三七五	三七〇	三七〇	三六〇	三六〇	三五五	三五〇	三四五	三四〇	三四〇
三九五	三九五	三七〇	三七〇	三七〇	三七〇	三七〇	三六〇	三六〇	三五五	三五〇	三四五	三四〇	三四〇
三九五	三九五	三六五	三六五	三六五	三六〇	三六〇	三六〇	三六〇	三五五	三五〇	三四五	三四〇	三四〇
三九五	三九五	三六〇	三六〇	三六〇	三五五	三五五	三五五	三五五	三五〇	三五〇	三四五	三四〇	三四〇
三九五	三九五	三五五	三五五	三五五	三五五	三五五	三五五	三五五	三五〇	三五〇	三四五	三四〇	三四〇
三九五	三九五	三五〇	三五〇	三五〇	三五〇	三五〇	三五〇	三五〇	三五〇	三五〇	三四五	三四〇	三四〇
三九五	三九五	三四五	三四五	三四五	三四五	三四五	三四五	三四五	三四五	三四五	三四五	三四〇	三四〇
三九五	三九五	三四〇	三四〇	三四〇	三四〇	三四〇	三四〇	三四〇	三四〇	三四〇	三四〇	三四〇	三四〇
三九五	三九五	三三五	三三五	三三五	三三五	三三五	三三五	三三五	三三五	三三五	三三五	三三五	三三五
三九五	三九五	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇
三九五	三九五	三二五	三二五	三二五	三二五	三二五	三二五	三二五	三二五	三二五	三二五	三二五	三二五
三九五	三九五	三二〇	三二〇	三二〇	三二〇	三二〇	三二〇	三二〇	三二〇	三二〇	三二〇	三二〇	三二〇
三九五	三九五	三一五	三一五	三一五	三一五	三一五	三一五	三一五	三一五	三一五	三一五	三一五	三一五
三九五	三九五	三一〇	三一〇	三一〇	三一〇	三一〇	三一〇	三一〇	三一〇	三一〇	三一〇	三一〇	三一〇
三九五	三九五	三〇五	三〇五	三〇五	三〇五	三〇五	三〇五	三〇五	三〇五	三〇五	三〇五	三〇五	三〇五
三九五	三九五	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇	三〇〇
三九五	三九五	二九五	二九五	二九五	二九五	二九五	二九五	二九五	二九五	二九五	二九五	二九五	二九五
三九五	三九五	二九〇	二九〇	二九〇	二九〇	二九〇	二九〇	二九〇	二九〇	二九〇	二九〇	二九〇	二九〇
三九五	三九五	二八五	二八五	二八五	二八五	二八五	二八五	二八五	二八五	二八五	二八五	二八五	二八五
三九五	三九五	二八〇	二八〇	二八〇	二八〇	二八〇	二八〇	二八〇	二八〇	二八〇	二八〇	二八〇	二八〇

十分二厘割合等差  
 座繰製絲精算絲量表  
 本等ニ組入レカタキ疎劣絲ハ第一條第四項五項ニヨリ十二等遞減絲量以外  
 尙降等ス  
 但シ此他ノ等差ハ本表ノ割合ニヨル





第二號表乙 機械製絲デニール定度表

明治四十年五月改正

四六

本分				
十	十	十	十	十
五	五	四	三	二
半				
十				十
				一
				半
六			十	十
				一
十				半
六				十
半				以下
十	十			
	七			
	半			
七				
十				
八				
以上				

分

外

148

一七〇八  
一七〇〇

1708  
1700  
1708  
1700

小野寺文庫

群馬県立図書館



0499350-7